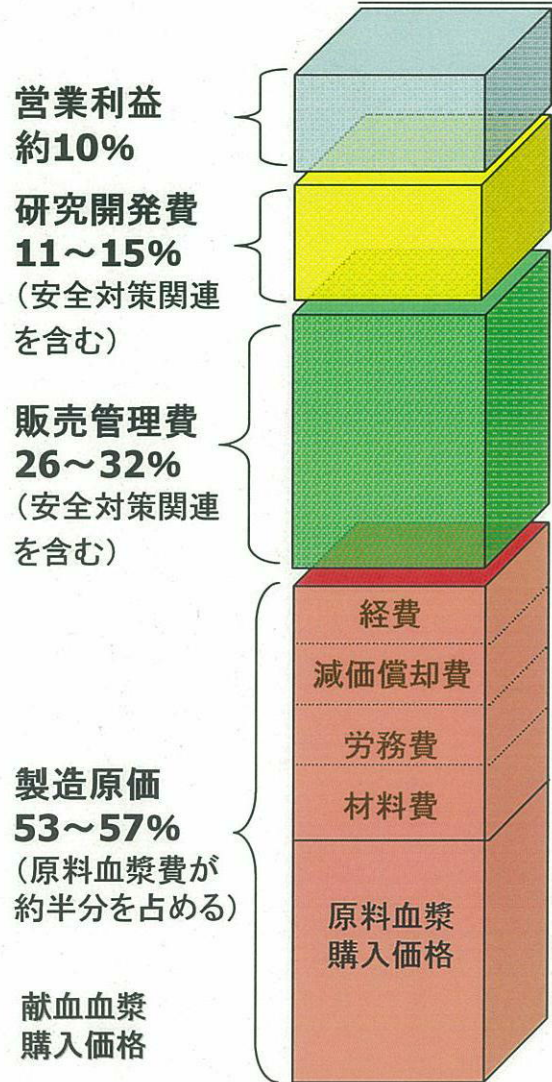


血漿分画製剤のコスト構造

血漿分画製剤事業

平成15年3月「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」資料より



市場縮小

新薬は期待薄

安全対策は売上に直接寄与しない

製造コスト構造の特徴

- 原料血漿購入費用が大きな割合を占める(原料血漿価格=分画事業者のコスト削減努力の及ばない部分)
- 連産品であることによるコスト分散の非効率性(国内需要に合わせた生産⇒未利用画分の発生)
- 安全対策強化のためのコスト
- 安定供給のための在庫コスト

【参考】

医薬品事業(東証一部上場31社)

JPMA News Letter No.108 (2005年)より

